

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
三沢市における活動推進指針
【平成27年11月・三沢市】

1964年以来、56年ぶりに「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されるにあたり、三沢市として、オリンピック・パラリンピック大会成功へ可能な限りの協力をするとともに、この貴重な機会を、スポーツ・教育・文化・経済をはじめとする地域の活性化、そして、当市の目指す「人とまち みんなで創る 国際文化都市」の進展に結び付け、大会の開催効果を市全体において享受するため、以下の指針に基づき、事前キャンプの誘致をはじめ、オリンピック・パラリンピック大会に関連した取組みを実施いたします。

1. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、可能な限り協力していきます。
2. 三沢市の基本理念である「人とまち みんなで創る 国際文化都市」の更なる進展、そして地域活性化に寄与するため、特に、人材育成などのソフト面において、オリンピック・パラリンピックに関する取組みを実施し、次代を担う世代へ、レガシーとして引き継ぎます。
3. スポーツ・教育面において、国際教育、地域教育、地域間交流、障がい者スポーツを含むスポーツの普及・振興、競技者の育成等を、推進します。
4. 文化面において、海外の生活習慣や文化に関する理解だけではなく、地元的生活・食文化等に関する理解を深めるための取組みを実施し、また、経済面においては、観光や自然、農水産物など、当市の持つ資源を十分に活用するなど、国際交流や地域活性化に繋がる取組みを推進します。
5. 地域福祉の観点から、障害のある人も無い人も互いに支え合い地域で生き生き明るく豊かに暮らしていける地域を目指す、ノーマライゼーションの理念を普及・推進します。
6. 事前キャンプの誘致をはじめ、市民がオリンピック・パラリンピックの意義や楽しさを、三沢にいながらも肌で感じられる事業を実施するとともに、幅広い分野で開催効果を得られるよう、関係機関と連携した取組みを進めます。